

徳山藩大農商の

家系(譜)図

会員 渡辺 勝

まえがき

筆者は本会誌第一〇・一一号に「徳山新四国八八カ所について」を発表した。この内に霊場の総鎮守とみなされる三大権現祠の祠文を発見したと報告している。祠文はその報告第五図に示すとおりで施主七名が陰刻してある。筆者はこの七名の人物像・事績を得たいと思ひ、又刻名の序列は何によるものであろうかと興味をもつていた。同様に同報告第七図の「願夫谷野氏」にも興味をもつていた(谷野については本会誌第一三号「徳山近隣の霊場 その3 水上大師霊場」参照)。

又別に筆者は徳山藩政期の郷土史を勉強する時、各種の史料を参考に行っているが、同一人に実名・幼名・通称(仮名)等多くの別名があり、或いは度々改称している為、同一人の確定や親子関係・姻戚関係も容易に確定できなかつた。こうした状況を解決したいという意図を早

くから持っていた。

史料の集約と「譜録」の系図化

前期の経緯が本報告の発端であるが今回は大農商人に限って調査することとした。

徳山藩政期における農商の内、金品の献納者や役務功績者には御仕成つまり藩が御賞美として、各種の格式や栄誉を与えている。内でも名立たる人には、武士の格式や禄・扶持を与え厚遇し、それには馬廻格・中小姓格・蔵本附格・御在所御心附・諸所御用達御心附と「徳山藩分限帳」に記載されている。これらの家の系譜を求める手順として、藩政期後半の「徳山藩分限帳」其の他の史料を年代順に整理したものが、第一図「御仕成一覧」(分限帳に記載の禄・扶持者のみで、上下(袴)着用・帯刀・庄屋格・町年寄格等及び在京都・大阪・江戸を除く)である。

次に徳山藩の「譜録」(山口県文書館所蔵)一二七六冊の内から第一図「御仕成一覧」に記載されている人名を探索した。結果は意外に該当者が少なく、第一図の上位者は殆ど全員「譜録」に発見できたが、中以下の者は殆ど発見できなかった(というより報告を免除したのかもしれない)。

この「譜録」の重要記事を編組し見易く系図化し、あわせて筆者が調査した墓碑銘その他を若干加えたものが第2図である。

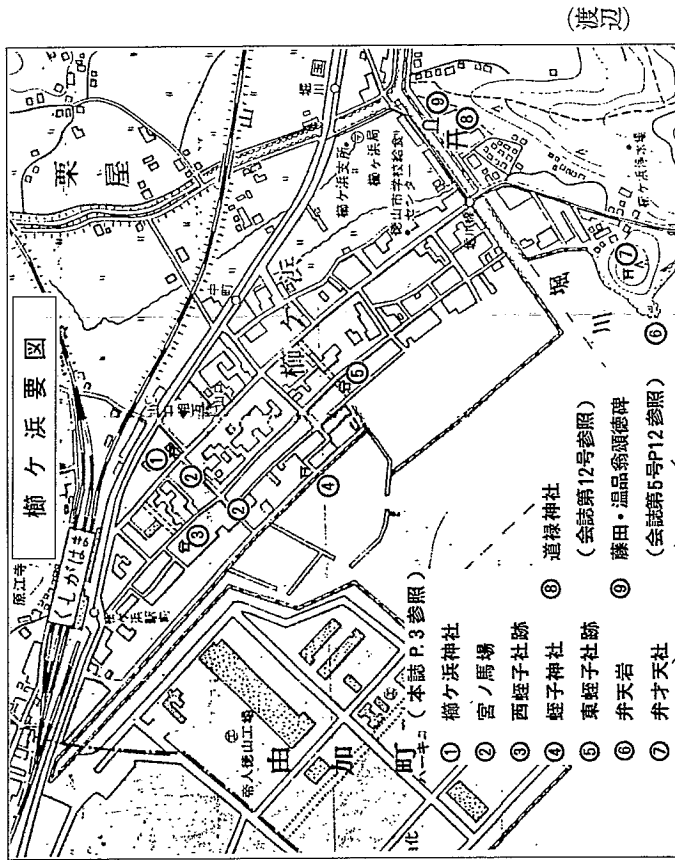
披見史料について

第1図「御仕成一覧」に掲げる①②③④⑦は「分限帳」「徳山市史史料(中)」から求めたもので信憑性について疑う余地は極めて少ないと言えよう。

次に天保以降から明治に至る間の「分限帳」を入手したいところであったので、「徳山市史史料(中)」にも「万延元年頃・明治二年(徳山毛利文庫所蔵)」とある「分限帳」を山口県文書館で求めたが、未整理ということで取材することができなかった。しかし⑤は、兼崎茂樹編「橙堂遺稿補遺」大正六年刊(注 兼崎茂樹は兼崎橙堂の子)に、「徳山藩臣録 在所御仕成」として記載されていて、筆者にとつて大変参考になった。だがこの表の信憑性に若干疑問がもたれた。というのは⑤の下端にも示すように多くの新人があり、容易に実現しそうなもない八〇石・三〇石が突然現れていて注目されるからである。

これについて調査した一例として「八〇石 河村熊植」の例を示してみる。前述のように嘉永頃の「分限帳」が

入手できないので、せめて徳山藩「大令録」によって御仕成の状況を把握しようとしたものが⑥である。「大令録」でも全体がカバーできないようだが、河村(藤屋)熊植は永蔵本附格 四石とある。当初⑤には河村熊植とのみで「譜録」にも勿論発見できなかったので、調査に何の手がかりもなかった。が「明治四年都濃郡第四区戸長副 下上村住農 河村熊植」の記事を発見してから調査は進展した。河村熊植家は新南陽市富田古市河村家の分家で、初代久左衛門(享保一一年死)以来の徳山市下上土井の商家・地主で、四代平蔵の時は紙商人・産物吟味方として、藩の和紙専売に大いに貢献しているが、一方大利潤も得ていたらしい。だが天保の一揆には打壊しにあい、現在でも真黒い柱全体に当時のものという傷痕をみることが出来る。又天保五年或いは嘉永年間と高額の献納(強制的?)も度々で、五代熊植はその対策に苦慮甚だしいものがあつたという。その為であろう天保五年永宙字御免、慶応二年には士の格即ち永蔵本附格(三石一人扶持)を与えられており、陣笠その他遺品が保存されている。さて問題の⑤の嘉永二年には、「大令録」ではまだ三石にもなっていない。「大令録」の信憑性は絶対的であろうから、⑤については疑問があるといえる。



しかしこれは単なる部分的なミスプリントかもしれないので、その全般的解決は県文書館の「分限帳」の公開に待たなければならない。しかし他の人名も名立たる人に違はなく、他の資料に散見されるものがあり大いに参考になっている。

最後に「譜録」は、徳山藩への自己申告制で、文化五年（一部寛政二年）から明治三年迄に付されたものであるが、完全に揃ってはいない。其の家の変遷を示すものか、あるいは紛失・欠損したものであろうか。しかし記事については、一応信頼せざるを得ないものとした。

おわりに

徳山藩における大農商人の系図をという分不相応な望みをもって始めた勉強も、第2図のような極めて不得要領な結果となったが、冒頭にも述べた三大権現祠刻名の序列も了解でき、徳山地方史研究にささかでも助けになればと何はともあれ一応報告しておきたい。

と同時に報告に間違いもあるかと思われるので諸先輩のご指摘ご叱正をお願いしたい。萩藩については「関閩録」が刊行されているが、徳山藩にもこれに類する刊行物ができないものかと夢を見ているものである。又いつも痛切に感じることは、徳山藩の史料を徳山で読むこと

ができないということで、如何にも残念である。

最後に河村正俊・本会会員児玉貞一両氏をはじめ系図のご子孫調査にご協力いただいた富田・徳山地区の方々

に深く謝辞を申し上げるものである。

主な参考文献

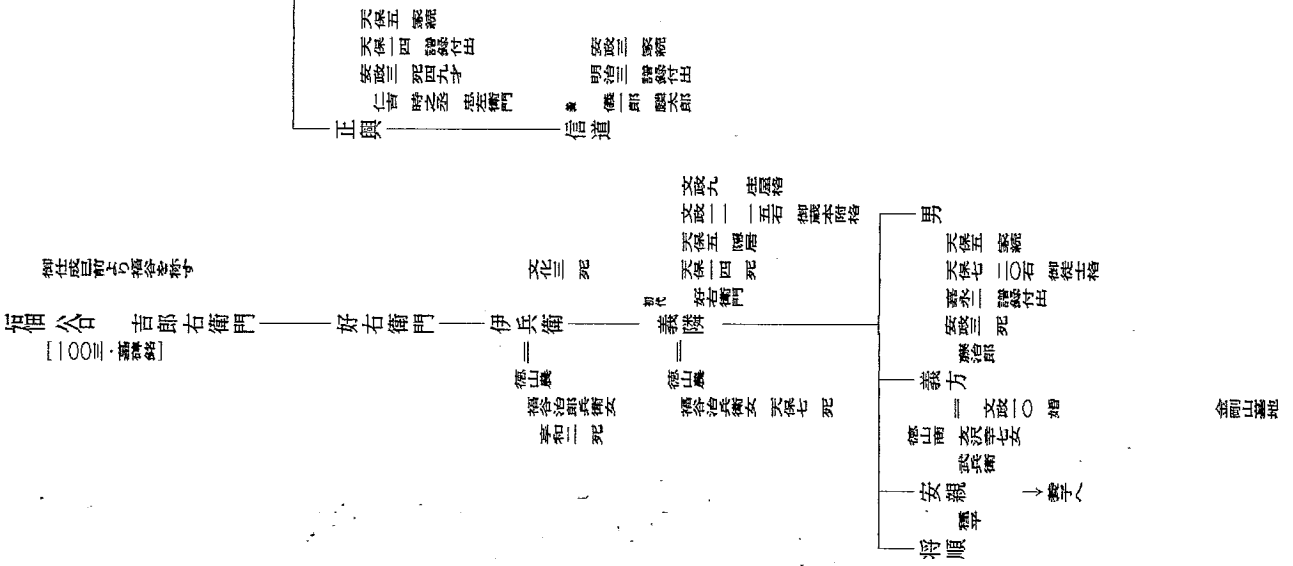
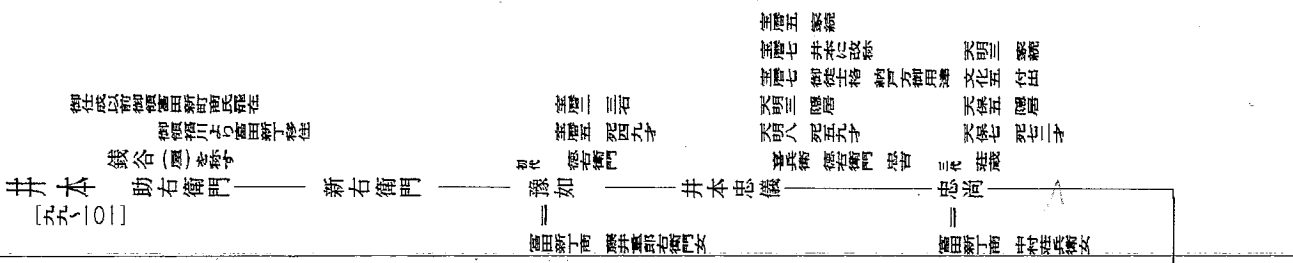
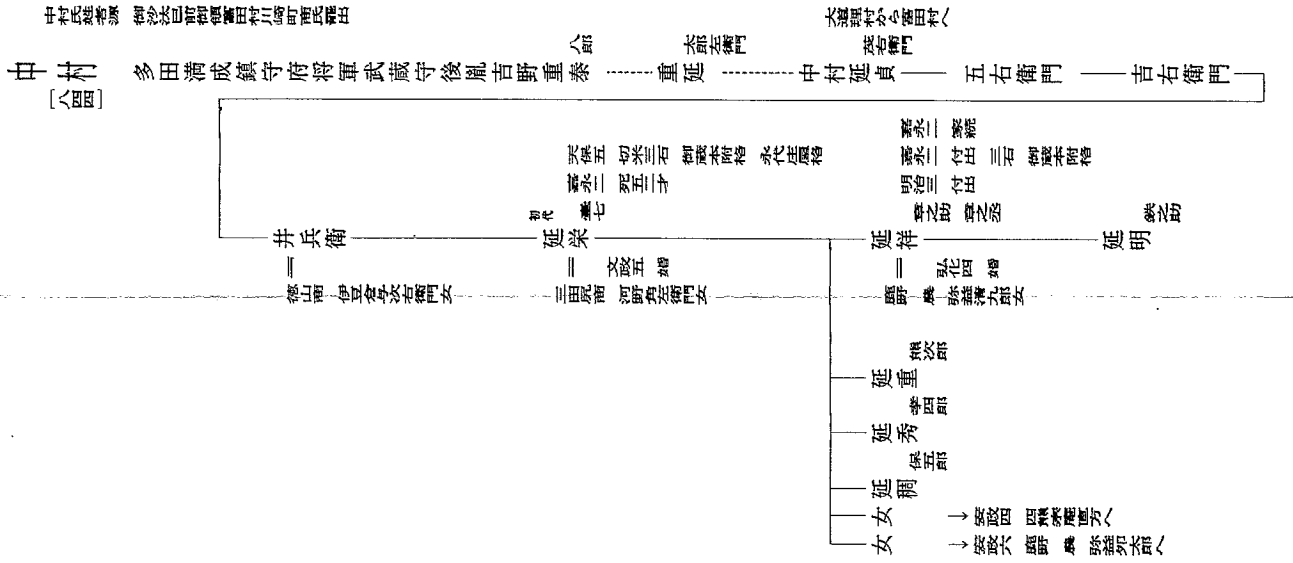
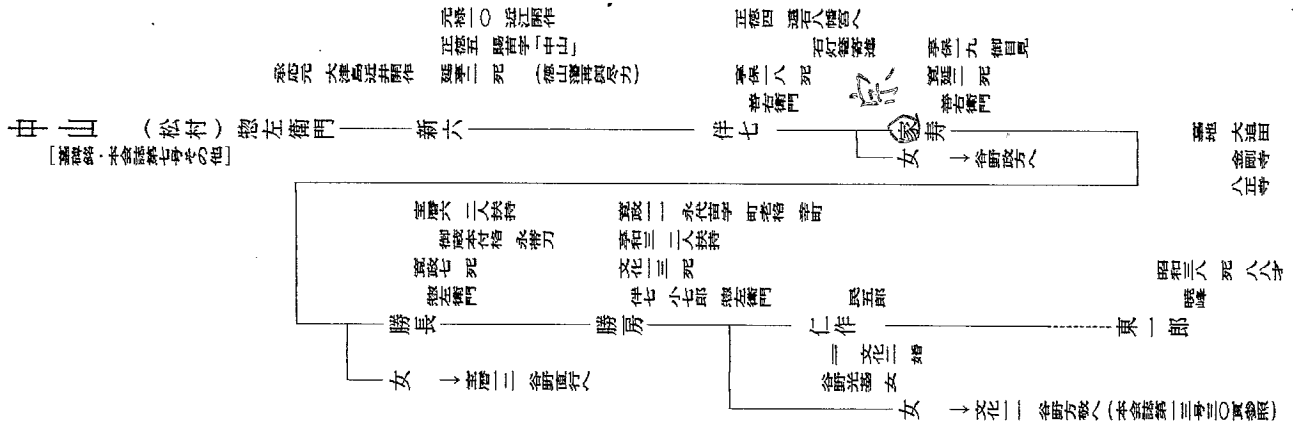
河村家記録		
橙堂遺稿	明治四四年	兼崎茂樹
富岡村郷土誌	大正一四年	富岡村役場
徳山市史史料(中)	昭和四一年	徳山市役所
角川日本史辞典		
(金銀銭対象表・近世米俵表)		
	昭和四一年	角川書店
日本歴史大辞典	昭和四九年	河出書房
苗字の歴史	昭和四六年	中央公論社
徳山地方郷土史研究 第一〇号		

徳山地方郷土史研究会

⑤ 「禮堂遺稿補述」 徳山藩臣録一在所御仕成	嘉永二年調	⑥ 高石	嘉永二年四年六年	[大令録]	慶応二年	高石	明治二年	⑦ 分限帳 「福山市史料 中」	明治二年
石高石 磯部庄平 [169] 47 山田秀照(雄?) [1179] 20 谷野金助 [754] 45 野村十郎左衛門 [923] 国広次郎左衛門 [449]	磯部庄平 [169] 山田秀照(雄?) [1179] 谷野金助 [754] 野村十郎左衛門 [923] 国広次郎左衛門 [449]	高石 25 道源常吉 (嘉永2 5→10石) (嘉永6 10→25石)	高石 20 磯部康左衛門? (明治4年)	高石 27 福谷幸三郎? 7 道源友藏	中士下等 25 4人扶持 山田秀熊 [1179] 中士下等 25 野村美和衛門 [923]	中士下等 25 4人扶持 山田秀熊 [1179] 中士下等 25 野村美和衛門 [923]	中士下等 25 4人扶持 山田秀熊 [1179] 中士下等 25 野村美和衛門 [923]	中士下等 25 4人扶持 山田秀熊 [1179] 中士下等 25 野村美和衛門 [923]	中士下等 25 4人扶持 山田秀熊 [1179] 中士下等 25 野村美和衛門 [923]
10 福谷藤次郎 [1003] 20 井本忠左衛門 [100] 3 道源常吉 [844] 5 中村章之助	福谷藤次郎 [1003] 井本忠左衛門 [100] 道源常吉 [844] 中村章之助	高石 25 道源常吉 (嘉永2 5→10石) (嘉永6 10→25石)	高石 20 磯部康左衛門? (明治4年)	高石 27 福谷幸三郎? 7 道源友藏	中士下等 25 4人扶持 山田秀熊 [1179] 中士下等 25 野村美和衛門 [923]	中士下等 25 4人扶持 山田秀熊 [1179] 中士下等 25 野村美和衛門 [923]	中士下等 25 4人扶持 山田秀熊 [1179] 中士下等 25 野村美和衛門 [923]	中士下等 25 4人扶持 山田秀熊 [1179] 中士下等 25 野村美和衛門 [923]	中士下等 25 4人扶持 山田秀熊 [1179] 中士下等 25 野村美和衛門 [923]
6 下瀬常吉? 3 野村伊兵衛 5 清水善吉? 9 高橋吉兵衛	下瀬常吉? 野村伊兵衛 清水善吉? 高橋吉兵衛	高石 25 道源常吉 (嘉永2 5→10石) (嘉永6 10→25石)	高石 20 磯部康左衛門? (明治4年)	高石 27 福谷幸三郎? 7 道源友藏	中士下等 25 4人扶持 山田秀熊 [1179] 中士下等 25 野村美和衛門 [923]	中士下等 25 4人扶持 山田秀熊 [1179] 中士下等 25 野村美和衛門 [923]	中士下等 25 4人扶持 山田秀熊 [1179] 中士下等 25 野村美和衛門 [923]	中士下等 25 4人扶持 山田秀熊 [1179] 中士下等 25 野村美和衛門 [923]	中士下等 25 4人扶持 山田秀熊 [1179] 中士下等 25 野村美和衛門 [923]
9 木村栄助 3 重岡治作 [605]	木村栄助 重岡治作 [605]	徳山町 木村栄助 (職納 嘉永2)	高石 20 磯部康左衛門? (明治4年)	高石 27 福谷幸三郎? 7 道源友藏	中士下等 25 4人扶持 山田秀熊 [1179] 中士下等 25 野村美和衛門 [923]	中士下等 25 4人扶持 山田秀熊 [1179] 中士下等 25 野村美和衛門 [923]	中士下等 25 4人扶持 山田秀熊 [1179] 中士下等 25 野村美和衛門 [923]	中士下等 25 4人扶持 山田秀熊 [1179] 中士下等 25 野村美和衛門 [923]	中士下等 25 4人扶持 山田秀熊 [1179] 中士下等 25 野村美和衛門 [923]
8 岩山吉左衛門 16 磯部五郎左衛門? 9 山田十郎左衛門? 5 山上貞吉 10 伊豆倉権六郎? 5 原田松之助	岩山吉左衛門 磯部五郎左衛門? 山田十郎左衛門? 山上貞吉 伊豆倉権六郎? 原田松之助	高石 20 磯部康左衛門? (明治4年)	高石 20 磯部康左衛門? (明治4年)	高石 27 福谷幸三郎? 7 道源友藏	中士下等 25 4人扶持 山田秀熊 [1179] 中士下等 25 野村美和衛門 [923]	中士下等 25 4人扶持 山田秀熊 [1179] 中士下等 25 野村美和衛門 [923]	中士下等 25 4人扶持 山田秀熊 [1179] 中士下等 25 野村美和衛門 [923]	中士下等 25 4人扶持 山田秀熊 [1179] 中士下等 25 野村美和衛門 [923]	中士下等 25 4人扶持 山田秀熊 [1179] 中士下等 25 野村美和衛門 [923]
5 入江源大夫? 17 福田嘉平?	入江源大夫? 福田嘉平?	徳茶屋頂 入江源太? 御殿本附格 福田宇右衛門?	高石 20 磯部康左衛門? (明治4年)	高石 27 福谷幸三郎? 7 道源友藏	中士下等 25 4人扶持 山田秀熊 [1179] 中士下等 25 野村美和衛門 [923]	中士下等 25 4人扶持 山田秀熊 [1179] 中士下等 25 野村美和衛門 [923]	中士下等 25 4人扶持 山田秀熊 [1179] 中士下等 25 野村美和衛門 [923]	中士下等 25 4人扶持 山田秀熊 [1179] 中士下等 25 野村美和衛門 [923]	中士下等 25 4人扶持 山田秀熊 [1179] 中士下等 25 野村美和衛門 [923]
9 磯部忠左衛門 5 兼重徳左衛門 80 河村熊燧 5 国弘吉左衛門 12 中村勘左衛門 19 下瀬伴五郎 5 清水彌三郎 15 原田伊左衛門 15 原田新蔵 13 原田市郎左衛門 5 福田四郎兵衛	磯部忠左衛門 兼重徳左衛門 河村熊燧 国弘吉左衛門 中村勘左衛門 下瀬伴五郎 清水彌三郎 原田伊左衛門 原田新蔵 原田市郎左衛門 福田四郎兵衛	河村熊燧 (職納 嘉永2・4・6)	高石 20 磯部康左衛門? (明治4年)	高石 27 福谷幸三郎? 7 道源友藏	中士下等 25 4人扶持 山田秀熊 [1179] 中士下等 25 野村美和衛門 [923]	中士下等 25 4人扶持 山田秀熊 [1179] 中士下等 25 野村美和衛門 [923]	中士下等 25 4人扶持 山田秀熊 [1179] 中士下等 25 野村美和衛門 [923]	中士下等 25 4人扶持 山田秀熊 [1179] 中士下等 25 野村美和衛門 [923]	中士下等 25 4人扶持 山田秀熊 [1179] 中士下等 25 野村美和衛門 [923]
5 宮崎勝之丞 10 光永吉右衛門 8 久村卯兵衛 5 宇多村金助 3 松田常之助 5 西村文作 9 小野基五左衛門 9 伊賀崎台助 3978合 伊藤孫左衛門 884合 宮崎常吉	宮崎勝之丞 光永吉右衛門 久村卯兵衛 宇多村金助 松田常之助 西村文作 小野基五左衛門 伊賀崎台助 伊藤孫左衛門 宮崎常吉	河村熊燧 (職納 嘉永2・4・6)	高石 20 磯部康左衛門? (明治4年)	高石 27 福谷幸三郎? 7 道源友藏	中士下等 25 4人扶持 山田秀熊 [1179] 中士下等 25 野村美和衛門 [923]	中士下等 25 4人扶持 山田秀熊 [1179] 中士下等 25 野村美和衛門 [923]	中士下等 25 4人扶持 山田秀熊 [1179] 中士下等 25 野村美和衛門 [923]	中士下等 25 4人扶持 山田秀熊 [1179] 中士下等 25 野村美和衛門 [923]	中士下等 25 4人扶持 山田秀熊 [1179] 中士下等 25 野村美和衛門 [923]
7 宮崎新二郎? 4 河村熊燧	宮崎新二郎? 河村熊燧	永御蔵本附格 3石1人扶持 河村熊燧	高石 20 磯部康左衛門? (明治4年)	高石 27 福谷幸三郎? 7 道源友藏	中士下等 25 4人扶持 山田秀熊 [1179] 中士下等 25 野村美和衛門 [923]	中士下等 25 4人扶持 山田秀熊 [1179] 中士下等 25 野村美和衛門 [923]	中士下等 25 4人扶持 山田秀熊 [1179] 中士下等 25 野村美和衛門 [923]	中士下等 25 4人扶持 山田秀熊 [1179] 中士下等 25 野村美和衛門 [923]	中士下等 25 4人扶持 山田秀熊 [1179] 中士下等 25 野村美和衛門 [923]
徒格 清水弥兵衛? 15 原田市郎左衛門	徒格 清水弥兵衛? 原田市郎左衛門	徒格 清水弥兵衛? 原田市郎左衛門	高石 20 磯部康左衛門? (明治4年)	高石 27 福谷幸三郎? 7 道源友藏	中士下等 25 4人扶持 山田秀熊 [1179] 中士下等 25 野村美和衛門 [923]	中士下等 25 4人扶持 山田秀熊 [1179] 中士下等 25 野村美和衛門 [923]	中士下等 25 4人扶持 山田秀熊 [1179] 中士下等 25 野村美和衛門 [923]	中士下等 25 4人扶持 山田秀熊 [1179] 中士下等 25 野村美和衛門 [923]	中士下等 25 4人扶持 山田秀熊 [1179] 中士下等 25 野村美和衛門 [923]

① 「徳山家中分限限」 寛政九年改 高石	② 「御家額分限限」 文化九年写 高石	③ 「御家額分限限」 天保三壬辰三月改 高石	④ 「現職預備仕組立二付在町より米拾級後 枚以上殿納並御實美一件」 天保五年 高石
組外馬廻 75 組外馬廻 60 徒士 切 6 茶道格 切 15 御在所御心附 水々切 3	組外馬廻 75 組外馬廻 60 茶道格 切 25 御在所御心附 切 6	馬廻格 [169] 高廻格 [1179] 中小姓格 [752] 茶道格 [925] 切 20 徒格 切 20 蔵本附格 切 3 蔵本附格 [844] 蔵本附格 [454]	磯部好次郎 [169] 山田秀兵衛 [1179] 谷野与市左衛門 [754] 野村平兵衛 [923] 国弘治郎左衛門 [449] 福谷藤次(弟)郎 [1003] 井本忠左衛門 [100] 道源常吉 [844] 中村台七 [454] 国弘幸助 [454]
徒士 切 3 御在所御心附 定 3人扶持 国弘普字御免 徳山町人 国弘助右衛門 [454] 2人扶持 御後約中 1人扶持 小沢町 新四郎? 2人扶持 新九郎? 2人扶持 太郎八? 2人扶持 源六郎? 切 9 切 9 切 6 米 5俵 徳山 野村吉郎衛門? 切 3 徳山御茶屋頂 清水喜右衛門? 切 3 永々町年寄格 高橋六郎右衛門?	御在所御心附 3人扶持 国弘松之進 [454] 2人扶持 内1人扶持至曆三年御後約中減少 小沢町 新四郎? 2人扶持 内1人扶持至曆三年御後約中減少 新町 新九郎? 2人扶持 内1人扶持至曆三年御後約中減少 辻村 太郎八? 2人扶持 内1人扶持至曆三年御後約中減少 富海 福田屋源五郎? 切 9 下松 下瀬梅四郎? 切 6 野村吉郎衛門? 米 5俵 徳山御茶屋頂 清水喜右衛門? 切 3 高橋治助? 7人扶持 岩崎三左衛門? 3人扶持 小川重右衛門? 6人扶持 木村金右衛門? 3人扶持 伴左衛門? 切 5 重岡八郎右衛門	磯部際右衛門 [169] 山田小一郎 [1179] 谷野与市郎 [752] 野村平兵衛 [925] 国弘治郎左衛門 [448] 井本庄蔵 [100] 国弘松之進 [454]	磯部好次郎 [169] 山田秀兵衛 [1179] 谷野与市左衛門 [754] 野村平兵衛 [923] 国弘治郎左衛門 [449] 福谷藤次(弟)郎 [1003] 井本忠左衛門 [100] 道源常吉 [844] 中村台七 [454] 国弘幸助 [454] 御在所御心附 2人扶持 内1人扶持至曆三癸酉年より御後約中減少 小沢町 新平 2人扶持 内1人扶持至曆三癸酉年より御後約中減少 新町 久蔵 2人扶持 内1人扶持至曆三癸酉年より御後約中減少 辻村 源蔵 2人扶持 内1人扶持至曆三癸酉年より御後約中減少 富海町 勝五郎 切 9 下松町 下瀬市郎左衛門 切 6 徳山町 野村伊兵衛 米 5俵 天保六年御後約中半減 徳山御茶屋頂 清水新蔵 切 3 徳山町 高橋吉兵衛 7人扶持 徳山町 岩崎三左衛門 3人扶持 平野町 小川十右衛門 4人扶持 徳山町 木村栄助 3人扶持 徳山町 神杉延次郎 [605] 切 3 下上村 重岡清助 5人扶持 内2人扶持減少天保六年より 池田徳次郎 3人扶持 内1人扶持減少天保六年より 鳥羽愷輔 2人扶持 徳山町 中山与吉郎 切 9 次1代迄御扶持人通 下松町 岩山初之進 切 3 下松町 磯部九郎左衛門 [171] 1人扶持 一生 元御小人 徳山町 太七 米 1俵 幕々 山田九兵衛 米 1俵 幕々 山上吉吉 4人扶持 徳山村 伊豆倉与次右衛門 2人扶持 生瀬 内半扶持 天保六年より減少 米田品次郎 切 6 夜市村 原田松之助 切 3 夜市町 原田弥吉
2人扶持 一生 元小人 太七	2人扶持 一生 須万 米田立蔵? 切 9 下松 中山伴七 切 3 下松 岩山弥十郎? 切 1 一生 磯部才五郎 太七	磯部際右衛門 [169] 山田小一郎 [1179] 谷野与市郎 [752] 野村平兵衛 [925] 国弘治郎左衛門 [448] 井本庄蔵 [100] 国弘松之進 [454]	磯部好次郎 [169] 山田秀兵衛 [1179] 谷野与市左衛門 [754] 野村平兵衛 [923] 国弘治郎左衛門 [449] 福谷藤次(弟)郎 [1003] 井本忠左衛門 [100] 道源常吉 [844] 中村台七 [454] 国弘幸助 [454] 御在所御心附 2人扶持 内1人扶持至曆三癸酉年より御後約中減少 小沢町 新平 2人扶持 内1人扶持至曆三癸酉年より御後約中減少 新町 久蔵 2人扶持 内1人扶持至曆三癸酉年より御後約中減少 辻村 源蔵 2人扶持 内1人扶持至曆三癸酉年より御後約中減少 富海町 勝五郎 切 9 下松町 下瀬市郎左衛門 切 6 徳山町 野村伊兵衛 米 5俵 天保六年御後約中半減 徳山御茶屋頂 清水新蔵 切 3 徳山町 高橋吉兵衛 7人扶持 徳山町 岩崎三左衛門 3人扶持 平野町 小川十右衛門 4人扶持 徳山町 木村栄助 3人扶持 徳山町 神杉延次郎 [605] 切 3 下上村 重岡清助 5人扶持 内2人扶持減少天保六年より 池田徳次郎 3人扶持 内1人扶持減少天保六年より 鳥羽愷輔 2人扶持 徳山町 中山与吉郎 切 9 次1代迄御扶持人通 下松町 岩山初之進 切 3 下松町 磯部九郎左衛門 [171] 1人扶持 一生 元御小人 徳山町 太七 米 1俵 幕々 山田九兵衛 米 1俵 幕々 山上吉吉 4人扶持 徳山村 伊豆倉与次右衛門 2人扶持 生瀬 内半扶持 天保六年より減少 米田品次郎 切 6 夜市村 原田松之助 切 3 夜市町 原田弥吉
3人扶持 千代 1人扶持 佐久間右衛門 1人扶持 水律 1人扶持 元 救箱 □□□ 1人扶持 元 おかご 五右衛門 1人扶持 同 源太郎	御在所御心附 3人扶持 浅田友左衛門 3人扶持 千代 1人扶持 佐久間右衛門 1人扶持 水律 1人扶持 元 救箱 □□□ 1人扶持 元 おかご 五右衛門 1人扶持 同 源太郎	磯部際右衛門 [169] 山田小一郎 [1179] 谷野与市郎 [752] 野村平兵衛 [925] 国弘治郎左衛門 [448] 井本庄蔵 [100] 国弘松之進 [454]	磯部好次郎 [169] 山田秀兵衛 [1179] 谷野与市左衛門 [754] 野村平兵衛 [923] 国弘治郎左衛門 [449] 福谷藤次(弟)郎 [1003] 井本忠左衛門 [100] 道源常吉 [844] 中村台七 [454] 国弘幸助 [454] 御在所御心附 2人扶持 内1人扶持至曆三癸酉年より御後約中減少 小沢町 新平 2人扶持 内1人扶持至曆三癸酉年より御後約中減少 新町 久蔵 2人扶持 内1人扶持至曆三癸酉年より御後約中減少 辻村 源蔵 2人扶持 内1人扶持至曆三癸酉年より御後約中減少 富海町 勝五郎 切 9 下松町 下瀬市郎左衛門 切 6 徳山町 野村伊兵衛 米 5俵 天保六年御後約中半減 徳山御茶屋頂 清水新蔵 切 3 徳山町 高橋吉兵衛 7人扶持 徳山町 岩崎三左衛門 3人扶持 平野町 小川十右衛門 4人扶持 徳山町 木村栄助 3人扶持 徳山町 神杉延次郎 [605] 切 3 下上村 重岡清助 5人扶持 内2人扶持減少天保六年より 池田徳次郎 3人扶持 内1人扶持減少天保六年より 鳥羽愷輔 2人扶持 徳山町 中山与吉郎 切 9 次1代迄御扶持人通 下松町 岩山初之進 切 3 下松町 磯部九郎左衛門 [171] 1人扶持 一生 元御小人 徳山町 太七 米 1俵 幕々 山田九兵衛 米 1俵 幕々 山上吉吉 4人扶持 徳山村 伊豆倉与次右衛門 2人扶持 生瀬 内半扶持 天保六年より減少 米田品次郎 切 6 夜市村 原田松之助 切 3 夜市町 原田弥吉
浅田友左衛門 千代 佐久間右衛門 水律 元 救箱 □□□ 元 おかご 五右衛門 同 源太郎	浅田友左衛門 千代 佐久間右衛門 水律 元 救箱 □□□ 元 おかご 五右衛門 同 源太郎	磯部際右衛門 [169] 山田小一郎 [1179] 谷野与市郎 [752] 野村平兵衛 [925] 国弘治郎左衛門 [448] 井本庄蔵 [100] 国弘松之進 [454]	磯部好次郎 [169] 山田秀兵衛 [1179] 谷野与市左衛門 [754] 野村平兵衛 [923] 国弘治郎左衛門 [449] 福谷藤次(弟)郎 [1003] 井本忠左衛門 [100] 道源常吉 [844] 中村台七 [454] 国弘幸助 [454] 御在所御心附 2人扶持 内1人扶持至曆三癸酉年より御後約中減少 小沢町 新平 2人扶持 内1人扶持至曆三癸酉年より御後約中減少 新町 久蔵 2人扶持 内1人扶持至曆三癸酉年より御後約中減少 辻村 源蔵 2人扶持 内1人扶持至曆三癸酉年より御後約中減少 富海町 勝五郎 切 9 下松町 下瀬市郎左衛門 切 6 徳山町 野村伊兵衛 米 5俵 天保六年御後約中半減 徳山御茶屋頂 清水新蔵 切 3 徳山町 高橋吉兵衛 7人扶持 徳山町 岩崎三左衛門 3人扶持 平野町 小川十右衛門 4人扶持 徳山町 木村栄助 3人扶持 徳山町 神杉延次郎 [605] 切 3 下上村 重岡清助 5人扶持 内2人扶持減少天保六年より 池田徳次郎 3人扶持 内1人扶持減少天保六年より 鳥羽愷輔 2人扶持 徳山町 中山与吉郎 切 9 次1代迄御扶持人通 下松町 岩山初之進 切 3 下松町 磯部九郎左衛門 [171] 1人扶持 一生 元御小人 徳山町 太七 米 1俵 幕々 山田九兵衛 米 1俵 幕々 山上吉吉 4人扶持 徳山村 伊豆倉与次右衛門 2人扶持 生瀬 内半扶持 天保六年より減少 米田品次郎 切 6 夜市村 原田松之助 切 3 夜市町 原田弥吉

凡例 [数字] ; 「徳山毛利家文庫版目録I」 譜録の項の通番 切 ; 切米 氏名? ; 天保3年の分限限の氏名を基として、それより以前以降の氏名の関係ではないかと判断した人 (同行に配列)



源氏維新 機城部 菅原道真……長宣……為成……長規……長宿……親宗……成宗……成寛

